

2020年度業務実績報告書

提出日 2021年 1月 15日

1. 職名・氏名 教授・水谷 哲也

2. 学位 学位 博士、専門分野 内分泌学、授与機関 群馬大学、授与年 1999年3月

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 解剖生理学Ⅰ（2単位） 1年生（2020年度）
②内容・ねらい（自由記述） 人体の基本的な全体像および人体における体液と血液、消化器系、呼吸器系、循環器系、腎・尿路系の基本的構造とそれらがはたらくしくみについて学び、専門看護領域や病気の発症機構を理解する上で必要な基礎知識を習得する。さらに、人体の精巧で巧妙なしくみを理解し、その知識を将来活用できるようにすることがねらいである。
② 講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述） ・教科書と配布プリントを用いて、学生全員が必要事項を理解出来るよう解説した。特に重要な内容は繰り返し説明し、理解度を高めるようにした。遠隔授業だったが、集中力が持続するよう適宜休憩を取り入れるなど工夫した。 ・重要事項が明確になるよう、プリントへ記述できるように作製した。 ・講義ごとに理解度を確認するよう小テストを行った。 ・小テストや授業後、学生の意見や質問に対し、個別に対応した。
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 解剖生理学Ⅱ（2単位） 1年生（2020年度）
②内容・ねらい（自由記述） 人体を構成する細胞、組織、骨、筋肉、神経系、感覚器系、内分泌系、生殖器系の基本的構造とそれらがはたらくしくみについて学び、専門看護領域や病気の発症機構を理解する上で必要な基礎知識を習得する。さらに、人体の精巧で巧妙なしくみを理解し、その知識を将来活用できるようにすることがねらいである。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述） ・教科書と配布プリントを用いて、学生全員が必要事項を理解出来るよう解説した。特に重要な内容は繰り返し説明し、理解度を高めるようにした。 ・重要事項が明確になるよう、プリントへ記述できるように作製した。 ・講義ごとに理解度を確認するよう小テストを行った。 ・小テストには学生の意見や質問を記入する欄を設け、個別の対応や意見のフィードバックを行った。 ・遠隔授業の際には、動画を配信すると共に質問を受けつける時間を設けて対応した。
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 卒業研究（4単位） 4年生（2020年度）
② 内容・ねらい（自由記述） 「喘息と性ステロイドホルモン」「アルコールと女性生殖機能」「メラトニンと卵巣」について、文献検索を行い基礎実験に関する実験計画を作製する。この過程で科学的思考力や論理的思考力を養い、人体の精巧で巧妙なしくみを理解しリサーチマインドを育むことがねらいである。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述） ・主体的に取り組めるよう、研究内容や進め方について話し合いを重ねながら進めた。 ・基礎科学研究に興味を持てるよう、自身の経験を交えながら伝えるようにした。

(2)非常勤講師担当科目
① 担当科目名（単位数） 開講学校名 女性生殖機能 福井大学医学部医学科 3 年生 （2020 年度）
②内容・ねらい （自由記述） 月経周期とその調節メカニズムおよび調節にかかわるホルモンの構造と機能について基礎的理解を深めた。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 （自由記述） スライドと配布資料を用いて講義を行った。教科書的な基本から近年明らかになってきた内容も含め、将来臨床に不可欠な基礎的内容を分かりやすく解説した。
④本学における業務との関連性 （自由記述） 福井大学で行っている女性生殖機能に関する教育を、本学看護学科の解剖生理学の教育にも取り入れている。
① 担当科目名（単位数） 開講学校名 生体物質の代謝 福井大学医学部医学科 2 年生 （2020 年度）
②内容・ねらい （自由記述） 糖・脂質代謝と糖尿病について、統合的に理解することを目的としている。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 （自由記述） スライドと配布資料を用いて講義を行った。糖・脂質代謝の全体像を説明し、空腹時（飢餓）、食後（過食時）における代謝が理解出来るよう解説した。さらに、糖尿病に関わる細胞内情報伝達に関する内容も取り入れた独自の内容を説明し、糖尿病の発症機序や治療に関することが理解出来るよう講義を行った。
④本学における業務との関連性 （自由記述） 福井大学で行っている生体物質の代謝に関する教育を、本学看護学科の解剖生理学の教育にも取り入れている。
(3)その他の教育活動
内容

4. 研究業績

(1)研究業績の公表	
① 著書	【0 本】
② 学術論文（査読あり） *1, Development of a novel and rapid measurement system for growth differentiation factor-15, progranulin, and osteopontin in uterine sarcoma. Maeno, M., <u>Mizutani, T.</u> , Tsuyoshi, H., Yamada, S., Ishikane, S., Kawabe, S., Nishimura, K., Yamada, M., Miyamoto, K., Yoshida, Y. <i>Endocr J</i> 28; 67(1): 91-94 (2020)	【1 本】
③ その他論文（査読なし）	【0 本】
④ 学会発表等 1, 子宮肉腫と子宮筋腫を鑑別するバイオマーカーの同定と新たな測定法の開発. 第8回婦人科がんバイオマーカー研究会. <u>水谷 哲也</u> , 前野 光生, 津吉 秀昭, 山田 しず佳, 西村 研吾, 吉田 好雄, 2020, 2, 横浜（口頭発表） 2, 子宮肉腫と子宮筋腫を鑑別する新たな因子 GDF15, progranulin, osteopontin. 第3回日本サルコーマ治療研究学会. <u>水谷 哲也</u> , 前野 光生, 津吉 秀昭, 山田 しず佳, 西村 研吾, 吉田 好雄, 2020, 2, 大阪（ポスター発表） 3, 血中 GDF15, progranulin, osteopontin の測定による子宮肉腫と子宮筋腫の鑑別. 第93回日本内分泌学会学術総会. <u>水谷 哲也</u> , 前野 光生, 津吉 秀昭, 山田 しず佳, 西村 研吾, 吉田 好雄, 2020, 7, web 開催（ポスター発表） 4, 子宮肉腫と子宮筋腫を鑑別する新たなバイオマーカーの同定. 第79回日本癌学会学術総会. <u>水谷 哲也</u> , 津吉 秀昭, 山田 しず佳, 吉田 好雄, 2020, 10, web 開催（口頭発表）	【4 件】
⑤ その他の公表実績 「血液検査で良性の子宮筋腫と悪性の子宮肉腫を鑑別する方法を発見」 2020年7月10日 日刊県民福井 1面 2020年7月10日 福井新聞 26面	【2 本】
(2)科研費等の競争的資金獲得実績	
学外 ・基盤研究（C）（代表） 卵胞の成熟と絨毛細胞分化を制御する新たな共通因子 Hippo 経路の分子機構の解明. ・基盤研究（B）（分担） Radiogenomics 法を用いた新規子宮肉腫治療バイオマーカーと治療法の開発.	
学内 ・戦略的課題研究推進支援（代表） 安全な妊娠と健康な胎児の発育に関する基礎的研究. ・KF 枠研究費（代表） 卵巣顆粒膜細胞の分化調節メカニズムの解明.	

(3)特許等取得

【 登録特許 】

1, 発明の名称:「子宮肉腫検出用血液マーカー、子宮肉腫検出用キット、および、子宮肉腫診断のためのデータの取得方法」

発明者:水谷哲也、宮本薫、河邊真也、石兼真、吉田好雄、福田真、山本真

特許番号:6694219 号

登録日:令和 2 年 4 月 21 日

2, 発明の名称:「子宮肉腫検出用血液マーカー、子宮肉腫検出用キット、および、子宮肉腫診断のためのデータの取得方法」

発明者:水谷哲也、宮本薫、河邊真也、石兼真、吉田好雄、福田真、山本真

特許番号:6694220 号

登録日:令和 2 年 4 月 21 日

(4)学会活動等

- ・ 日本生殖内分泌学会評議員
- ・ 日本内分泌学会評議員
- ・ 日本内分泌学会若手研究奨励賞評価委員
- ・ 日本ホルモンステーション評議員
- ・ 北信越畜産学会福井県分会理事

5. 地域・社会貢献活動

①国・地方公共団体等の委員会・審議会（それぞれの名称、業務内容、担当期間） 福井県畜産技術業績発表会助言指導者（R3.3） ⑦その他（名称、活動場所、活動期間） ・福井大学客員教授（産科婦人科学）（H31.4～現在に至る） ・福井大学遺伝子組換え実験安全委員会委員（R2.4～現在に至る）

6. 大学運営への参画

(1)補職
(2)委員会・チーム活動
・実験動物委員会 委員（委員長）（H31.4～現在に至る） ・遺伝子組み換え実験安全委員会 委員（H31.4～現在に至る） ・病原微生物実験委員会 委員（H31.4～現在に至る） ・毒劇物管理部会 委員（H31.4～現在に至る） ・学科カリキュラム検討委員会 委員（H31.4～現在に至る）
(3)学内行事への参加
・オープンキャンパス 模擬授業 ・オープンキャンパス 学科企画 ・入試説明会 若狭高校
(4)その他、自発的活動など